



ファンドの特色

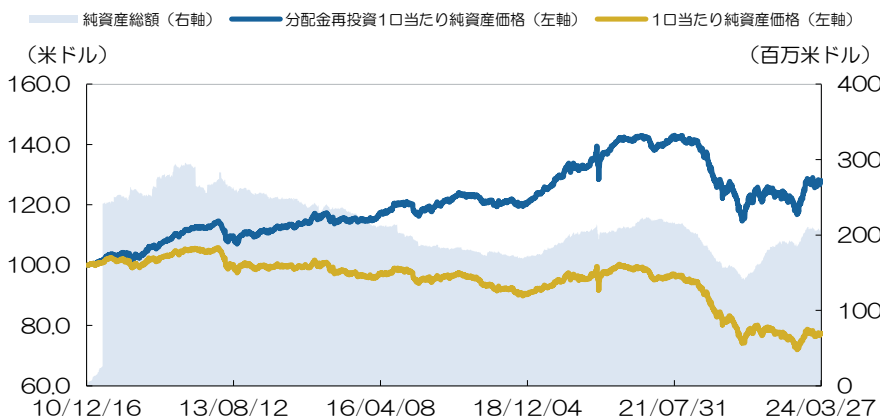
- ① 米国投資適格債券を中心とする様々な債券に投資し、トータル・リターンの最大化を追求します。
- ② 米ドル、豪ドル、日本円、トルコリラから、ご希望の通貨クラスへの投資が可能です。
- ③ 原則として毎月分配を行う予定です。
- ④ 債券運用において専門性を有するPIMCOが運用を行います。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド 米ドル建クラス

設定日 2010年12月16日
信託期間 無期限
分配基準日 毎月の最終ファンド営業日

2024年3月末現在
1口当たり純資産価格(米ドル) 77.40
純資産総額(百万米ドル) 206.57

1口当たり純資産価格および純資産総額の推移



分配金実績(税引前1口当たり)

	(米ドル)
2023年4月	0.30
2023年5月	0.30
2023年6月	0.30
2023年7月	0.30
2023年8月	0.30
2023年9月	0.30
2023年10月	0.30
2023年11月	0.30
2023年12月	0.30
2024年1月	0.30
2024年2月	0.30
2024年3月	0.30

設定来累計 47.40

※ 運用状況によっては、分配が行われない場合があります。

※ 2016年2月末現在のレポートより、分配金込み1口当たり純資産価格から分配金再投資1口当たり純資産価格による表示に変更しております。
※ 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。
※ 過去の実績は、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

分配金再投資1口当たり純資産価格のパフォーマンス

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.04%	-0.27%	6.65%	2.87%	-7.48%	27.93%

※ 2016年2月末現在のレポートより、上記のパフォーマンスは、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。

1口当たり純資産価格の変動要因

		米ドル
前月末1口当たり純資産価格		76.90
当月お支払いした分配金		0.30
要	債券要因	0.33
	インカムゲイン キャピタルゲイン	0.51
因	為替要因	-
	管理報酬等	-0.04
当月末1口当たり純資産価格		77.40

※ 上記の要因分解は、概算値であり、実際の1口当たり純資産価格の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

※ 四捨五入のため全体計(1口当たり純資産価格の変動幅と内訳の合計)が相違することがあります。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション

■ 豪ドル建クラス ■ トルコリラ建クラス ■ 米ドル建ブラジルリアルクラス ■ 豪ドル建ブラジルリアルクラス



ファンドの特色

- ① 米国投資適格債券を中心とする様々な債券に投資し、トータル・リターンの最大化を追求します。
- ② 米ドル、豪ドル、日本円、トルコリラから、ご希望の通貨クラスへの投資が可能です。
- ③ 原則として毎月分配を行う予定です。
- ④ 債券運用において専門性を有するPIMCOが運用を行います。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド 円建クラス

設定日 2010年12月16日
 信託期間 無期限
 分配基準日 毎月の最終ファンド営業日

2024年3月末現在
 1口当たり純資産価格（日本円） 6,698
 純資産総額（百万円） 316.77

分配金実績（税引前1口当たり）

（日本円）	
2023年4月	15
2023年5月	15
2023年6月	15
2023年7月	15
2023年8月	15
2023年9月	15
2023年10月	15
2023年11月	15
2023年12月	15
2024年1月	15
2024年2月	15
2024年3月	15

設定来累計 3,780
 ※ 運用状況によっては、分配が行われない場合があります。

通貨ヘッジ比率

通貨	
日本円	99.99%

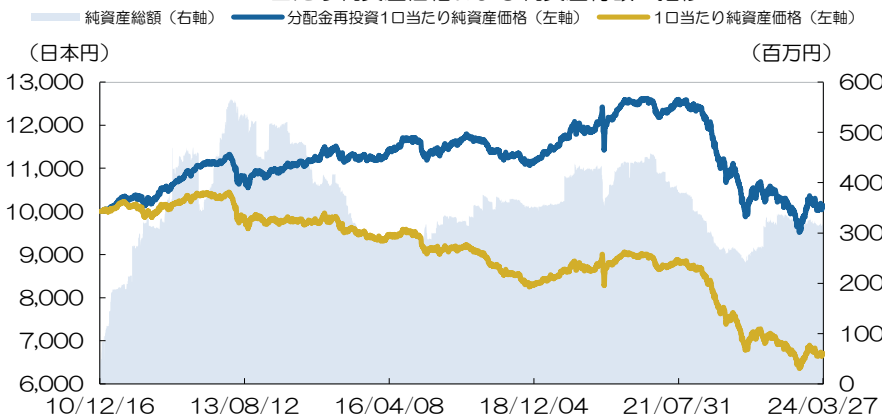
※ 通貨ヘッジ比率は、時価変動により100%を上回る、または下回る場合があります。

【ご参考】為替取引によるプレミアム/コスト

コスト	-5.56%
-----	--------

※ 為替取引によるヘッジプレミアム/コストは為替のフォワードレートとスポットレートの差に基づいて算出しており、2通貨間の金利差（金利要因）に加えてヘッジにかかる需給要因も含まれております。また、あくまで理論値であり、実際の為替取引によるプレミアム/コストの値とは異なります。

1口当たり純資産価格および純資産総額の推移



※ 2016年2月末現在のレポートより、分配金込み1口当たり純資産価格から分配金再投資1口当たり純資産価格による表示に変更しております。
 ※ 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。
 ※ 過去の実績は、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

分配金再投資1口当たり純資産価格のパフォーマンス

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.58%	-1.74%	3.30%	-3.20%	-16.94%	1.28%

※ 2016年2月末現在のレポートより、上記のパフォーマンスは、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。

1口当たり純資産価格の変動要因

		日本円
前月末1口当たり純資産価格		6,674
当のお支払いした分配金		15
要	債券要因	28
	インカムゲイン キャピタルゲイン	43
因	為替要因	-29
	管理報酬等	-3
当月末1口当たり純資産価格		6,698

※ 上記の要因分解は、概算値であり、実際の1口当たり純資産価格の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。
 ※ 四捨五入のため全体計（1口当たり純資産価格の変動幅と内訳の合計）が相違することがあります。
 ※ 為替要因は、為替取引によるプレミアム/コストも含まれます。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション

■ 豪ドル建クラス ■ トルコリラ建クラス ■ 米ドル建ブラジルリアルクラス ■ 豪ドル建ブラジルリアルクラス



ファンドの特色

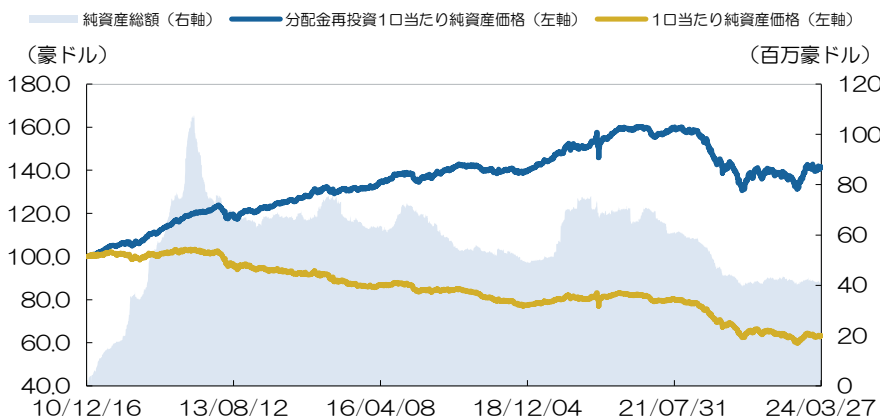
- ① 米国投資適格債券を中心とする様々な債券に投資し、トータル・リターンの最大化を追求します。
- ② 米ドル、豪ドル、日本円、トルコリラから、ご希望の通貨クラスへの投資が可能です。
- ③ 原則として毎月分配を行う予定です。
- ④ 債券運用において専門性を有するPIMCOが運用を行います。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション 豪ドル建クラス

設定日 2010年12月16日
 信託期間 無期限
 分配基準日 毎月の最終ファンド営業日

2024年3月末現在
 1口当たり純資産価格(豪ドル) 63.30
 純資産総額(百万豪ドル) 41.46

1口当たり純資産価格および純資産総額の推移



※ 2016年2月末現在のレポートより、分配金込み1口当たり純資産価格から分配金再投資1口当たり純資産価格による表示に変更しております。
 ※ 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。
 ※ 過去の実績は、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

分配金再投資1口当たり純資産価格のパフォーマンス

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.87%	-0.45%	5.30%	1.58%	-8.93%	41.59%

※ 2016年2月末現在のレポートより、上記のパフォーマンスは、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。

分配金実績(税引前1口当たり)

	(豪ドル)
2023年4月	0.25
2023年5月	0.25
2023年6月	0.25
2023年7月	0.25
2023年8月	0.25
2023年9月	0.25
2023年10月	0.25
2023年11月	0.25
2023年12月	0.25
2024年1月	0.25
2024年2月	0.25
2024年3月	0.25

設定来累計 70.70
 ※ 運用状況によっては、分配が行われない場合があります。

通貨ヘッジ比率

通貨	
豪ドル	100.02%

※ 通貨ヘッジ比率は、時価変動により100%を上回る、または下回る場合があります。

【ご参考】為替取引によるプレミアム/コスト

コスト	-1.14%
-----	--------

※ 為替取引によるヘッジプレミアム/コストは為替のフォワードレートとスポットレートの差に基づいて算出しており、2通貨間の金利差(金利要因)に加えてヘッジにかかる需給要因も含まれております。また、あくまで理論値であり、実際の為替取引によるプレミアム/コストの値とは異なります。

1口当たり純資産価格の変動要因

		豪ドル
前月末1口当たり純資産価格		63.00
当のお支払いした分配金		0.25
要	債券要因	0.24
	インカムゲイン キャピタルゲイン	0.40
因	為替要因	-0.06
	管理報酬等	-0.03
当月末1口当たり純資産価格		63.30

※ 上記の要因分解は、概算値であり、実際の1口当たり純資産価格の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。
 ※ 四捨五入のため全体計(1口当たり純資産価格の変動幅と内訳の合計)が相違することがあります。
 ※ 為替要因は、為替取引によるプレミアム/コストも含まれます。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション

■ 豪ドル建クラス ■ トルコリラ建クラス ■ 米ドル建ブラジルリアルクラス ■ 豪ドル建ブラジルリアルクラス



ファンドの特色

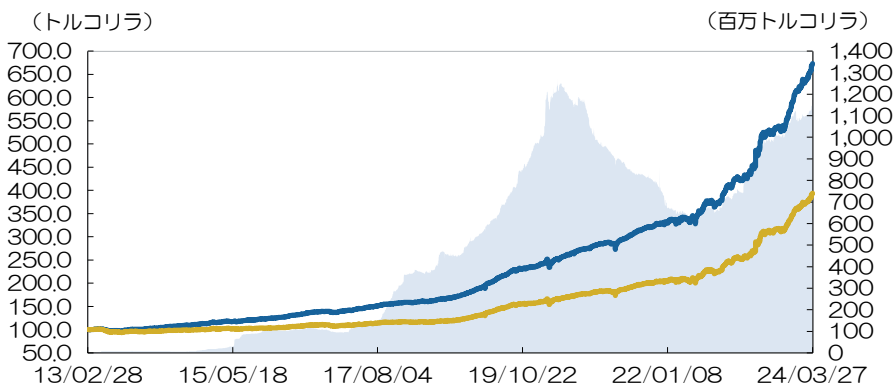
- ① 米国投資適格債券を中心とする様々な債券に投資し、トータル・リターンの最大化を追求します。
- ② 米ドル、豪ドル、日本円、トルコリラから、ご希望の通貨クラスへの投資が可能です。
- ③ 原則として毎月分配を行う予定です。
- ④ 債券運用において専門性を有するPIMCOが運用を行います。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション トルコリラ建クラス

設定日 2013年2月28日
 信託期間 無期限
 分配基準日 毎月の最終ファンド
 営業日

2024年3月末現在
 1口当たり純資産価格（トルコリラ） 393.73
 純資産総額（百万トルコリラ） 1,151.67

1口当たり純資産価格および純資産総額の推移
 純資産総額（右軸） 分配金再投資1口当たり純資産価格（左軸） 1口当たり純資産価格（左軸）



分配金実績（税引前1口当たり）

（トルコリラ）	
2023年4月	0.55
2023年5月	0.55
2023年6月	0.55
2023年7月	0.55
2023年8月	0.55
2023年9月	0.55
2023年10月	0.55
2023年11月	0.55
2023年12月	0.55
2024年1月	0.55
2024年2月	0.55
2024年3月	0.55

設定来累計 72.60
 ※ 運用状況によっては、分配が行われない場合があります。

通貨ヘッジ比率

通貨
 トルコリラ 99.80%

※ 通貨ヘッジ比率は、時価変動により100%を上回る、または下回る場合があります。

【ご参考】為替取引によるプレミアム/コスト

プレミアム 49.35%

※ 為替取引によるヘッジプレミアム/コストは為替のフォワードレートとスポットレートの差に基づいて算出しており、2通貨間の金利差（金利要因）に加えてヘッジにかかる需給要因も含まれております。また、あくまで理論値であり、実際の為替取引によるプレミアム/コストの値とは異なります。

- ※ 2016年2月末現在のレポートより、分配金込み1口当たり純資産価格から分配金再投資1口当たり純資産価格による表示に変更しております。
- ※ 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。
- ※ 過去の実績は、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

分配金再投資1口当たり純資産価格のパフォーマンス

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	4.27%	9.30%	26.49%	55.59%	135.87%	572.88%

※ 2016年2月末現在のレポートより、上記のパフォーマンスは、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。

1口当たり純資産価格の変動要因

		トルコリラ
前月末1口当たり純資産価格		378.16
当のお支払いした分配金		0.55
要	債券要因	1.45
	キャピタルゲイン	2.28
因	為替要因	12.73
	管理報酬等	-0.33
当月末1口当たり純資産価格		393.73

- ※ 上記の要因分解は、概算値であり、実際の1口当たり純資産価格の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。
- ※ 四捨五入のため全体計（1口当たり純資産価格の変動幅と内訳の合計）が相違することがあります。
- ※ 為替要因は、為替取引によるプレミアム/コストも含まれます。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション

■ 豪ドル建クラス ■ トルコリラ建クラス ■ 米ドル建ブラジルリアルクラス ■ 豪ドル建ブラジルリアルクラス



ファンドの特色

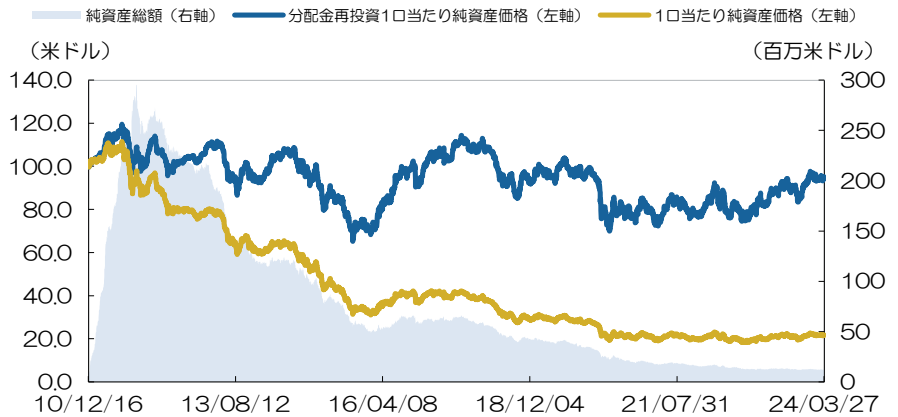
- ① 米国投資適格債券を中心とする様々な債券に投資し、トータル・リターンの最大化を追求します。
- ② 米ドル、豪ドル、日本円、トルコリラから、ご希望の通貨クラスへの投資が可能です。
- ③ 原則として毎月分配を行う予定です。
- ④ 債券運用において専門性を有するPIMCOが運用を行います。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション 米ドル建ブラジルリアルクラス

設定日 2010年12月16日
信託期間 無期限
分配基準日 毎月の最終ファンド営業日

2024年3月末現在
1口当たり純資産価格(米ドル) 21.68
純資産総額(百万米ドル) 12.13

1口当たり純資産価格および純資産総額の推移



※ 2016年2月末現在のレポートより、分配金込み1口当たり純資産価格から分配金再投資1口当たり純資産価格による表示に変更しております。
※ 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。
※ 過去の実績は、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

分配金再投資1口当たり純資産価格のパフォーマンス

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.51%	-2.41%	8.06%	9.56%	27.09%	-5.53%

※ 2016年2月末現在のレポートより、上記のパフォーマンスは、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出しております。

分配金実績(税引前1口当たり)

	(米ドル)
2023年4月	0.08
2023年5月	0.08
2023年6月	0.08
2023年7月	0.08
2023年8月	0.08
2023年9月	0.08
2023年10月	0.08
2023年11月	0.08
2023年12月	0.08
2024年1月	0.08
2024年2月	0.08
2024年3月	0.08

設定来累計 75.45
※ 運用状況によっては、分配が行われない場合があります。

通貨ヘッジ比率

通貨	比率
ブラジルリアル	100.07%

※ 通貨ヘッジ比率は、時価変動により100%を上回る、または下回る場合があります。

【ご参考】為替取引によるプレミアム/コスト

プレミアム	3.57%
-------	-------

※ 為替取引によるヘッジプレミアム/コストは為替のフォワードレートとスポットレートの差に基づいて算出しており、2通貨間の金利差(金利要因)に加えてヘッジにかかる需給要因も含まれております。また、あくまで理論値であり、実際の為替取引によるプレミアム/コストの値とは異なります。

1口当たり純資産価格の変動要因

		米ドル
前月末1口当たり純資産価格		21.65
当のお支払いした分配金		0.08
要	債券要因	0.08
	インカムゲイン キャピタルゲイン	0.15
因	為替要因	-0.10
	管理報酬等	-0.02
当月末1口当たり純資産価格		21.68

※ 上記の要因分解は、概算値であり、実際の1口当たり純資産価格の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。
※ 四捨五入のため全体計(1口当たり純資産価格の変動幅と内訳の合計)が相違することがあります。
※ 為替要因は、為替取引によるプレミアム/コストも含まれます。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション

■ 豪ドル建クラス ■ トルコリラ建クラス ■ 米ドル建ブラジルリアルクラス ■ 豪ドル建ブラジルリアルクラス



ファンドの特色

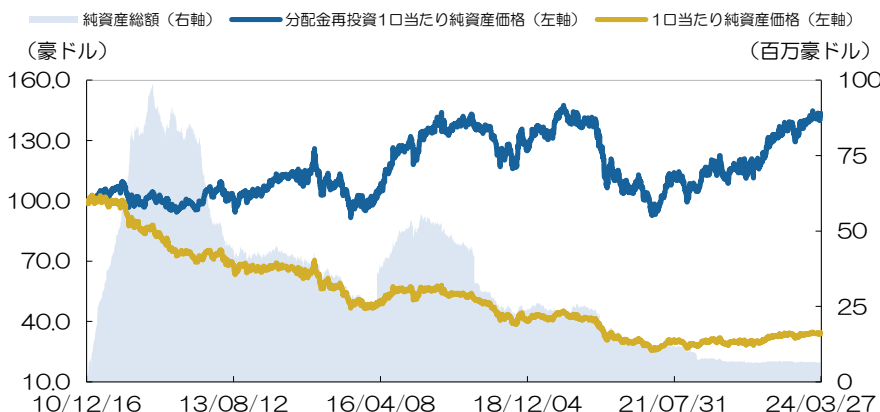
- ① 米国投資適格債券を中心とする様々な債券に投資し、トータル・リターンの最大化を追求します。
- ② 米ドル、豪ドル、日本円、トルコリラから、ご希望の通貨クラスへの投資が可能です。
- ③ 原則として毎月分配を行う予定です。
- ④ 債券運用において専門性を有するPIMCOが運用を行います。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション 豪ドル建ブラジルリアルクラス

設定日 2010年12月16日
 信託期間 無期限
 分配基準日 毎月の最終ファンド営業日

2024年3月末現在
 1口当たり純資産価格(豪ドル) 34.17
 純資産総額(百万豪ドル) 6.46

1口当たり純資産価格および純資産総額の推移



※ 2016年2月末現在のレポートより、分配金込み1口当たり純資産価格から分配金再投資1口当たり純資産価格による表示に変更しております。
 ※ 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出してあります。
 ※ 過去の実績は、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

分配金再投資1口当たり純資産価格のパフォーマンス

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.32%	2.04%	6.86%	12.45%	48.36%	42.47%

※ 2016年2月末現在のレポートより、上記のパフォーマンスは、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出してあります。

分配金実績(税引前1口当たり)

	(豪ドル)
2023年4月	0.12
2023年5月	0.12
2023年6月	0.12
2023年7月	0.12
2023年8月	0.12
2023年9月	0.12
2023年10月	0.12
2023年11月	0.12
2023年12月	0.12
2024年1月	0.12
2024年2月	0.12
2024年3月	0.12

設定来累計 83.95
 ※ 運用状況によっては、分配が行われない場合があります。

通貨ヘッジ比率

通貨
 ブラジルリアル 100.08%

※ 通貨ヘッジ比率は、時価変動により100%を上回る、または下回る場合があります。

【ご参考】為替取引によるプレミアム/コスト

プレミアム 3.57%

※ 為替取引によるヘッジプレミアム/コストは為替のフォワードレートとスポットレートの差に基づいて算出してあり、2通貨間の金利差(金利要因)に加えてヘッジにかかる需給要因も含まれております。また、あくまで理論値であり、実際の為替取引によるプレミアム/コストの値とは異なります。

1口当たり純資産価格の変動要因

		豪ドル
前月末1口当たり純資産価格		34.18
当月お支払いした分配金		0.12
要	債券要因	0.13
	インカムゲイン キャピタルゲイン	0.23
因	為替要因	-0.22
	管理報酬等	-0.03
当月末1口当たり純資産価格		34.17

※ 上記の要因分解は、概算値であり、実際の1口当たり純資産価格の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。
 ※ 四捨五入のため全体計(1口当たり純資産価格の変動幅と内訳の合計)が相違することがあります。
 ※ 為替要因は、為替取引によるプレミアム/コストも含まれます。

ファンド概況は「ピムコ・トータル・リターン・ファンド」および「ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション」の主な投資先である「ピムコ・トータル・リターン・ストラテジー・ファンド(対象ファンド)」についての情報を掲載しております。

ファンド概況

<ファンドの一般的特性>

平均クーポン	3.96%
平均直接利回り*	4.12%
平均最終利回り*	5.35%
平均デュレーション	5.57
平均格付**	A

<通貨別比率>

通貨	比率(%)
米ドル	100
インドルピー	1
その他	-1

<セクター別投資比率>

種類	比率(%)
国債・政府機関債	10
モーゲージ債	54
社債	36
米国以外の公社債	-8
エマーシング債	4
その他	1
キャッシュ等***	3

<格付別投資比率>

格付	比率(%)
AAA	37
AA	5
A	21
BBB	32
BB	4
B	1
B格未満	0

(注) 通貨別比率、セクター別投資比率、格付別投資比率については四捨五入のため全体計が100%とならないことがあります。

* 運用報酬控除前。

** 平均格付とは、基準日時点でファンドに組み入れられた有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。

*** キャッシュ等には、PIMCOがキャッシュとみなす債券(高格付の短期債)等が含まれています。

【市場概況】

米国債券相場は、月初、国内の景気減速や労働市場の伸びの鈍化が確認されたことから上昇して始まったものの、2月の米CPI(消費者物価指数)が市場予想を上回ったことを受け根強いインフレに対する懸念から米利下げ開始が先送りされるとの観測が広がり、下落に転じました。一方、FOMC(米連邦公開市場委員会)において政策金利見直しに変更がなかったことや、パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長がインフレの低下に向けて自信を示したことを受け、年中には利下げが開始されるとの観測が強まったことから、月末にかけて上昇しました。月を通じてみると米国債券相場は上昇しました。投資適格社債やモーゲージ債は国債を上回るパフォーマンスとなりました。金利は2年が4.62%(前月末比:0.00%)、5年が4.21%(同:-0.03%)、10年が4.20%(同:-0.05%)、30年が4.34%(同:-0.04%)となり、2-10年のイールド・カーブはフラット化(長短金利差が縮小)しました。

【運用成果と要因分析】

当月の各クラスの騰落率は下記の通りです。米ドル建クラス、円建クラス、豪ドル建クラス、トルコリラ建クラス、米ドル建ブラジルリアルクラス、豪ドル建ブラジルリアルクラスはプラスのリターンとなりました。

	米ドル建クラス	円建クラス	豪ドル建クラス	トルコリラ建クラス	米ドル建ブラジルリアルクラス	豪ドル建ブラジルリアルクラス
騰落率	1.04%	0.58%	0.87%	4.27%	0.51%	0.32%

【今後の見通し】

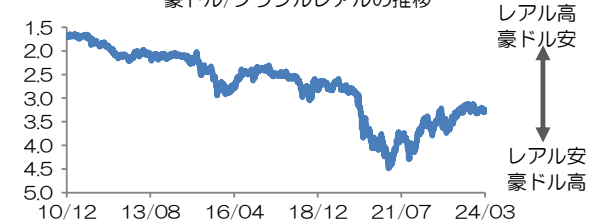
2024年の世界経済は、米国を除いて年初に想定していた通りの展開となり、英国、スウェーデン、ドイツではテクニカル・リセッション(景気後退)に陥り、その他の地域では景気が停滞しています。一方、米国については2023年にみせた想定外の景気の強さは今年に入っても続いており、ただし、米国も2024年末にかけて景気は次第に減速していくとみられています。金融政策については、先進国の中央銀行は今年半ばの利下げ開始を示唆していますが、PIMCOの予想ではひとたび利下げを開始した後はそのペースは速くなり、2025年末時点の政策金利は米国以外では市場予想よりも低くなる可能性があるかとみられています。米国については、特に低・中所得者層の世帯で貯蓄残高が大幅に減少していることなどから2024年末にかけて他の先進国並みに徐々に減速していく見込みです。ただし、米国では、消費のために借入の増加傾向が強まっていること、低金利の固定型住宅ローン組んでいる世帯が多く利上げの影響を受けにくいことなどから、当面は底堅い景気が続くかとみられています。また、米国の相対的な成長率の高さを支えているこれらの要因は、インフレの粘着性を高める要因にもなるかと考えています。なお、FRBが再利上げを検討するには国内のインフレが幅広い分野で顕著に再加速に転じていることが必須と考えられる一方、当局は利上げについては回避的なスタンスを示しています。従って、政策目標をやや上回るインフレ率がしばらく続くことが予想されます。また、FRBがインフレの上振れをどの程度まで許容するかによって利下げ幅やスピードが左右されるとみられています。今後の投資戦略としては、デュレーションは市場平均対比で短めですが、状況に応じて柔軟にコントロールします。債券セクター別には、社債については市場全体に対して中立姿勢とし、金融社債等を中心に選択的な保有を継続します。また、バリュエーション面で妙味のある政府系モーゲージ債や非政府系モーゲージ債も一部組み入れております。

為替市場の推移

(米ドル/リアル) 米ドル/ブラジルリアル推移



(豪ドル/リアル) 豪ドル/ブラジルリアル推移



出所: ブルームバーグ

※当資料に関する重要な事項について、巻末の注記を必ずご確認ください

ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション
■ 豪ドル建クラス ■ トルコリラ建クラス ■ 米ドル建ブラジルリアルクラス ■ 豪ドル建ブラジルリアルクラス

お申込みメモ

- ◆ファンド名称 : ピムコ・ルクセンブルグ・トラストⅣ — ピムコ・トータル・リターン・ファンド (米ドル建クラス・円建クラス)
ピムコ・ルクセンブルグ・トラストⅣ — ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクション (豪ドル建クラス・米ドル建ブラジルリアルクラス・豪ドル建ブラジルリアルクラス・トルコリラ建クラス)
- ◆ファンドの形態 : ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型公募外国投資信託
- ◆ファンドの決算日 : 年1回、毎年5月31日
- ◆ファンドの営業日 : ニューヨーク証券取引所、ルクセンブルグの銀行営業日であり、日本の銀行の営業日
- ◆購入(申込)単位 : 10口以上1口単位(新規・追加申込とも)
- ◆購入(申込)価格 : 毎ファンド営業日を「取引日」とし、申込みが受領された取引日時点で算定される当該クラスの純資産額を参照して計算される価格とします。
- ◆購入(申込)代金 : 日本における約定日(申込注文の成立を日本における販売会社が確認した日であり、通常、お申込み日の日本における翌営業日。同日を含みます。)から起算して日本における4営業日目までに日本における販売会社に支払うものとします。
- ◆換金(買戻)単位 : 1口以上1口単位
- ◆換金(買戻)価格 : 毎ファンド営業日を「買戻日」として、各買戻日に算出される1口当たり純資産価格とします。
- ◆換金(買戻)代金 : 日本における約定日(買戻注文の成立を日本における販売会社が確認した日であり、通常、お申込み日の日本における翌営業日。同日を含みます。)から起算して日本における4営業日目までに買戻代金をお支払いするものとします。
- ◆申込締切時間 : 原則として午後4時(日本時間)までとします。ただし日本における販売会社により異なる申込締切時間が設けられる場合があります(購入・換金とも)。
- ◆換金制限 : 管理会社は、ある取引日に買い戻すことのできるファンド証券総数を各ファンドの純資産額の10%または管理会社の単独裁量により決定されるこれより高い割合に制限することができます。
- ◆購入(申込)/換金(買戻)申込受付の中止および取消 : 証券取引所の取引停止、外国為替の取引停止、その他止むを得ない事情があるときは、ファンド証券の買戻の受付を中止もしくは換金代金の支払を遅延することがあります。
- ◆スイッチング : 各クラス間のスイッチングの受付は行っておりません。
- ◆収益分配 : 各クラスは原則として毎月分配を行う予定です。分配基準日は毎月の最終ファンド営業日となります。毎月の分配水準は金利収入(インカム・ゲイン)および売買差益(キャピタル・ゲイン)を考慮し、管理会社が決定します。なお、管理会社が適切と判断する場合には、追加的な分配を行う場合もあります。ただし、管理会社の判断で分配が行われないことがあります。
- ◆課税関係 : 詳しくは投資信託説明書(交付目録見書)の「手続・手数料等」をご参照ください。
- ◆その他 : 外貨建て投資信託の場合の適用為替レートについて
外貨建て投資信託の場合は、売買、償還等に当たり、円貨と外貨、または、異なる外貨間での交換をする際には、外国為替市場の動向に応じて日本における販売会社が決定した為替レートによるものとします。

ファンドに係る手数料等について

<購入(申込)時に直接ご負担いただく費用>

◆お申込手数料: お申込口数に応じて、以下の料率によって算出される金額をご負担いただけます。

お申込口数	お申込手数料率
1万口未満	2.200% (税抜2.00%)
1万口以上5万口未満	1.650% (税抜1.50%)
5万口以上10万口未満	1.100% (税抜1.00%)
10万口以上50万口未満	0.550% (税抜0.50%)
50万口以上	0.220% (税抜0.20%)

※ 管理会社および日本における販売会社が申込手数料について別途合意する場合には、それに従うものとし、上記と異なる取扱いとなる場合があります。

<投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用>

◆管理報酬等:

ピムコ・トータル・リターン・ファンド【米ドル建クラス、円建クラス】
ピムコ・トータル・リターン・ファンド
マルチカレンシー・セレクション【豪ドル建クラス】
ファンドの純資産総額に対して、合計年率0.66%を乗じた額およびその他費用がファンド資産から支払われます。

ピムコ・トータル・リターン・ファンド
マルチカレンシー・セレクション
【米ドル建ブラジルリアルクラス、豪ドル建ブラジルリアルクラス、トルコリラ建クラス】
ファンドの純資産総額に対して、合計年率1.10%を乗じた額およびその他費用がファンド資産から支払われます。

	(年率)
管理会社報酬※	0.41%
販売報酬	0.15%
代行協会員報酬	0.10%
合計	0.66%

	(年率)
管理会社報酬※	0.55%
販売報酬	0.45%
代行協会員報酬	0.10%
合計	1.10%

※ 投資顧問会社の報酬は、管理会社が負担するものとし、保管受託銀行および主管理事務代行会社の報酬は、投資顧問会社が負担するものとし。

(注) ピムコ・トータル・リターン・ファンドマルチカレンシー・セレクションのうち、豪ドル建クラスと米ドル建ブラジルリアルクラス、豪ドル建ブラジルリアルクラスおよびトルコリラ建クラスとは、管理報酬等の料率が異なりますので、ご注意ください。

◆その他費用・手数料:

管理報酬等のほか、上記の費用に含まれておらず、ご負担いただく費用総額に変更を生じ、また影響を与える可能性のあるその他の費用を、ファンドを通して間接的にご負担いただく場合があります。当該その他の費用には、ファンドの創設費のほか、税金および行政上の手数料、仲介報酬および手数料ならびにその他のポートフォリオ取引費用、支払利息を含む借入金費用、訴訟費用および補償費用を含む臨時費用、ならびに特定のクラスに配分される、または配分することが可能な費用等が含まれます。当該その他の費用は、運用状況等により変動するものであり、事前にその料率および上限額を示すことはできません。

※ 上記手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

ファンドの関係法人

管理会社: ピムコ・グローバル・アドバイザーズ(ルクセンブルグ) エス・エイ
投資顧問会社: パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(「PIMCO」)
保管受託銀行、主管理事務代行会社、法人代行会社、支払代行会社、登録・名義書換代行会社:
ステート・ストリート・バンク・インターナショナル・ゲーエムペーハー ルクセンブルグ支店
代行協会員: SMBC日興証券株式会社
日本における販売会社: SMBC日興証券株式会社 他

投資リスク

必ずお読みください

ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、ファンドの1口当たり純資産価格の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

■ファンドの主なリスク要因は次のとおりです。下記のリスクは、対象ファンドに適用されるリスクであり、また、対象ファンドへの投資を行う結果として、ファンドにも間接的に適用されます。その場合、「対象ファンド」に関する言及は、「ファンド」に関する言及と解釈ください。

通貨リスク、為替変動リスク

- 為替相場は、金利の変動、米国その他の政府、中央銀行、もしくは国際通貨基金等の超国家的機関による介入（もしくは介入の失敗）、または米国もしくは海外における通貨管理その他の政治上の予期されない事態、などといった多くの理由により、短期間で著しく変動することがあります。その結果、対象ファンドの米国以外の通貨建て証券に対する投資は、対象ファンドのリターンを減少させることがあります。
- 各ファンドの受益証券1口当たり純資産価格の算出は、表示通貨建て（米ドル建て、豪ドル建て、日本円建てまたはトルコリラ建て）により行われるため、日本円以外の通貨建ての受益証券に日本円より投資する場合には、外国為替相場の変動によっては換金時の円貨お受取り金額が円貨ご投資額を下回る場合があります。

円建クラス

対象ファンドは、米ドル建て資産へ投資し、円建クラスにおいて原則として米ドル売り、日本円買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、完全に為替リスクを排除することはできません。また、日本円短期金利が米ドル短期金利より低い場合、日本円と米ドルとの金利差相当分のヘッジコストがかかることに留意が必要です。

豪ドル建クラス

対象ファンドは、米ドル建て資産へ投資し、豪ドル建クラスにおいて原則として米ドル売り、豪ドル買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、完全に為替リスクを排除することはできません。また、豪ドル短期金利が米ドル短期金利より低い場合、豪ドルと米ドルとの金利差相当分のヘッジコストがかかることに留意が必要です。

米ドル建ブラジルリアルクラスおよび豪ドル建ブラジルリアルクラス

対象ファンドは、米ドル建て資産へ投資し、各通貨クラスにおいて原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行います。そのため、ブラジルリアルが各通貨クラスのファンド証券1口当たり純資産価格の表示通貨に対して強くなればファンド証券1口当たり純資産価格の上昇要因となり、弱くなればファンド証券1口当たり純資産価格の下落要因となります。また、ブラジルリアル短期金利が米ドル短期金利より低い場合、その金利差相当分の為替取引によるコストがかかることに留意が必要です。

なお、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引については、ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクションは、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引（non-deliverable forward transactions、NDF）を利用することにより為替取引を行う場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、ファンド証券1口当たり純資産価格の値動きは、実際のブラジルリアルの為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。

トルコリラ建クラス

対象ファンドは、米ドル建て資産へ投資し、トルコリラ建クラスにおいて原則として米ドル売り、トルコリラ買いの為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、完全に為替リスクを排除することはできません。また、トルコリラ短期金利が米ドル短期金利より低い場合、トルコリラと米ドルとの金利差相当分のヘッジコストがかかることに留意が必要です。

投資リスク

必ずお読みください**金利リスク**

金利リスクは、金利の上昇により確定利付商品およびその他の対象ファンドのポートフォリオ証券の価値が低下するというリスクです。名目金利が上昇すると、対象ファンドが保有する特定の確定利付商品の価値は低下する傾向があります。名目金利は実質金利と予想インフレ率の合計として記載されることがあります。デュレーションが長い確定利付商品は金利の変動により敏感である傾向があり、通常、デュレーションが短い証券よりも変動しやすいものです。米国インフレ連動国債を含むインフレ連動債は、実質金利が上昇すると価値が低下します。実質金利が名目金利よりも速く上昇している等の特定の金利環境では、インフレ連動債は、類似したデュレーションの他の確定利付商品よりも損失が大きくなる可能性があります。

信用リスク

対象ファンドは、確定利付商品（証券の貸付担保と共に購入した証券を含みます。）の発行体もしくは保証人、またはデリバティブ契約、レボ取引もしくはポートフォリオ証券の貸付の取引相手方当事者が、時宜に適った元本および／または利息の支払その他その債務の履行を行うことができず、もしくは行うことに消極的である場合、または市場参加者、信用格付機関、値付業者もしくはその他の者によりそのように認識される場合、損失を被ることがあります。

ハイ・イールド・リスク

対象ファンドは、ハイ・イールド債券および同様の信用の質を有する無格付証券（通称「ジャンク・ボンド」）に投資できるため、かかる証券に投資しないファンドよりもより大きな信用リスクおよび流動性リスクに服する可能性があります。かかる証券は、発行体の継続的な元利金の支払能力に関して際立って投機的であると判断されています。

市場リスク

対象ファンドが保有する証券の市場価格は上下することがあり、時としてそれは急激または予測不可能な場合があります。証券は、証券市場一般または証券市場における特定の産業に影響を及ぼす要因により、価値が低下することがあります。

発行体リスク

証券の価値は、発行体の過去および今後の予測収益ならびに発行体の資産価値の他、経営実績、財務レバレッジおよび発行体の財貨またはサービスに対する需要の減少等、発行体に直接関連する多数の理由により、低下することがあります。

流動性リスク

対象ファンドが流動性を欠く証券に対して投資を行う場合、かかる証券を有利な時点または価格で売却することができないため、対象ファンドの収益を減少させることがあります。

デリバティブ・リスク

デリバティブは、流動性リスク、金利リスク、市場リスク、信用リスクおよびマネジメント・リスク等、多数のリスクにさらされます。また、誤った価格形成または不当な評価のリスク、およびデリバティブの価値の変動が原資産となる資産、相場または指数と完全に相関しないことがあるというリスクも伴います。対象ファンドは、デリバティブ商品に対する投資により、投資した元本金額よりも多額の損失を被ることがあります。また、適切なデリバティブ取引はあらゆる状況において利用可能なわけではなく、さらに、対象ファンドにとって有益と思われるときでも、これ以外のリスクを減少させるため、かかるデリバティブ取引への参加を確約するものではありません。

モーゲージ関連証券およびその他アセット・バック証券（資産担保証券）のリスク

モーゲージ関連証券およびその他アセット・バック証券を購入する場合、対象ファンドは、期間延長リスク、期限前償還リスクといった一定の追加的なリスクにさらされます。

新興市場リスク

対象ファンドが発展途上経済の国に経済的に関連した新興市場証券に投資する限り、対外投資リスクは特に高くなる可能性があります。かかる証券は、国外の先進国に投資する際のリスクとは異なるまたはかかるリスクよりも大きな、市場リスク、信用リスク、通貨リスク、流動性リスク、法的リスク、政治的リスクおよびその他のリスクをもたらす可能性があります。

投資リスク

必ずお読みください

レバレッジ・リスク

借入れを含むレバレッジの結果、対象ファンドはレバレッジを用いなかった場合よりも変動しやすくなる可能性があります。デリバティブの使用もまた、レバレッジ・リスクを生むことがあります。

マネジメント・リスク

対象ファンドはアクティブ運用を行う投資ポートフォリオであるため、対象ファンドはマネジメント・リスクによる影響を受けます。投資顧問会社は、対象ファンドのため投資決定を行う際に投資技術およびリスク分析を適用しますが、かかる投資決定が望ましい結果を生むとの保証はありません。

空売りのリスク

対象ファンドがショート・ポジションを保有する期間中、証券またはデリバティブの価格が上昇した場合は、対象ファンドは空売りが開始された時以降の価格の上昇ならびに第三者に支払われた手数料および利息に相当する損失を負担することになります。従って、空売りは、損失が増大し、投資の実費よりも多額の金額の損失を生じ得るリスクを伴います。また、空売りに関係する第三者が契約条件の遵守を怠り、対象ファンドに損失をもたらすリスクもあります。

＜その他留意事項＞

- 本資料はPIMCO※が作成したものであり、「金融商品取引法」「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示資料ではありません。本資料にPIMCOが記載した運用状況、コメント等は、過去の一時点或いは過去の一定期間におけるものであり、将来の運用成果を予想或いは保証するものではありません。本資料に記載されているデータ等の正確性につきましてはPIMCOは細心の注意を払っておりますが、PIMCOはその確実性、完結性を保証するものではありません。※PIMCOはパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込の際には、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず詳細をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申し込みは

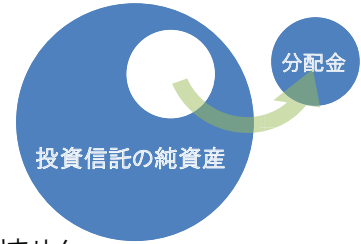
金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社(注)	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○

(注) SMBC日興証券株式会社は、2024年3月8日以降、ピムコ・トータル・リターン・ファンド マルチカレンシー・セレクションの米ドル建ブラジルリアルクラスおよび豪ドル建ブラジルリアルクラスの申込みの取扱いを停止しています。

国内籍投資信託の収益分配金に関するご留意事項

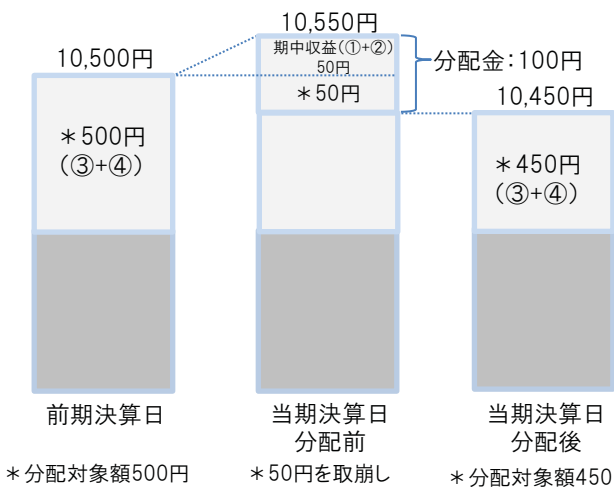
投資信託で分配金が支払われるイメージ

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

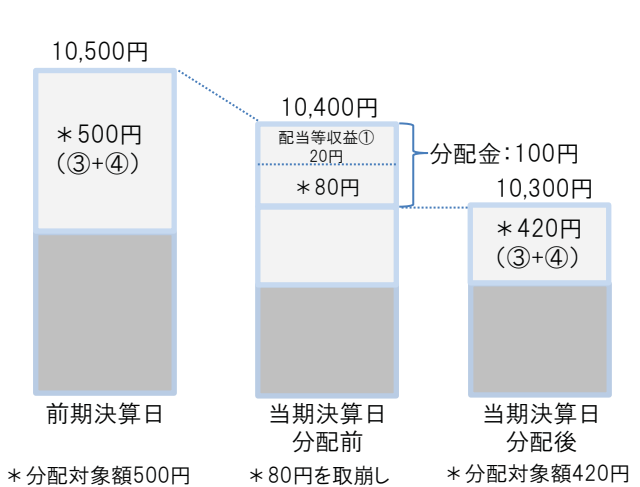


計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

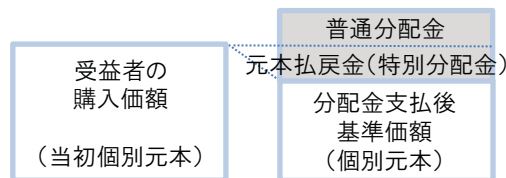
- ①配当等収益(経費控除後) ②有価証券売買益・評価益(経費控除後) ③分配準備積立金 ④収益調整金

上記いずれの場合も分配金受取額は同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上図はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

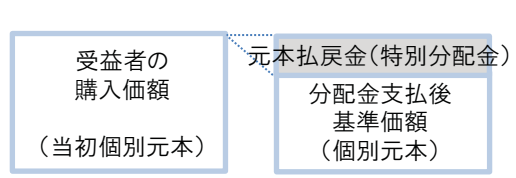
- 受益者(投資者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部またはすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(受益者(投資者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者(投資者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

外国籍投資信託の分配金に関するご留意事項

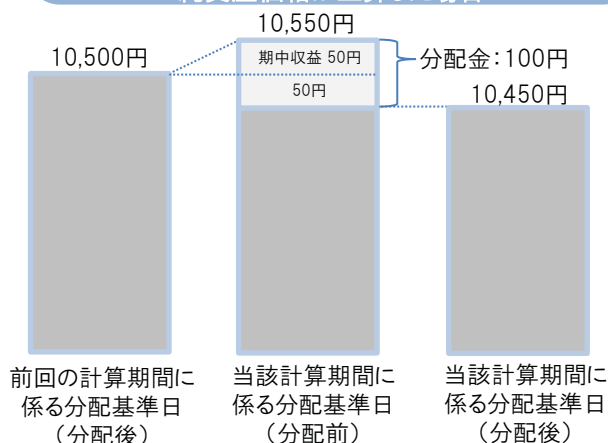
投資信託で分配金が支払われるイメージ

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、純資産価格は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当該計算期間に係る分配基準日(分配後)における純資産価格は、前回の計算期間に係る分配基準日(分配後)と比べて下落する事になります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間は、分配基準日(分配後)から次回の分配基準日までの期間をいいます。

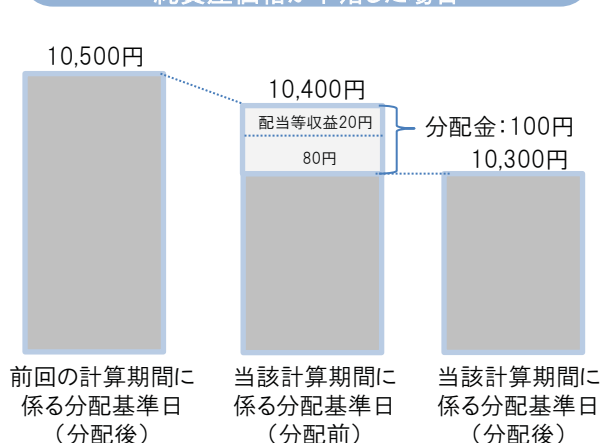


計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前回の計算期間に係る分配基準日(分配後)から純資産価格が上昇した場合



前回の計算期間に係る分配基準日(分配後)から純資産価格が下落した場合



(注) 当該計算期間に生じた収益以外から50円を取り崩す

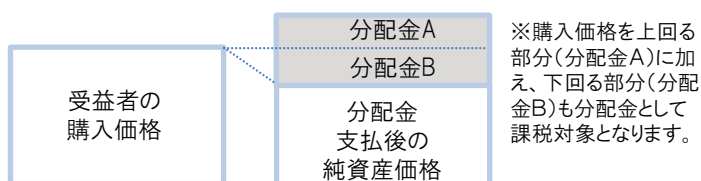
(注) 当該計算期間に生じた収益以外から80円を取り崩す

(注) 分配金は、ファンド毎の分配方針に基づき支払われます。分配方針については投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。上記いずれの場合も分配金受取額は同額ですが、純資産価格の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の純資産価格の増減額」の合計額でご判断ください。

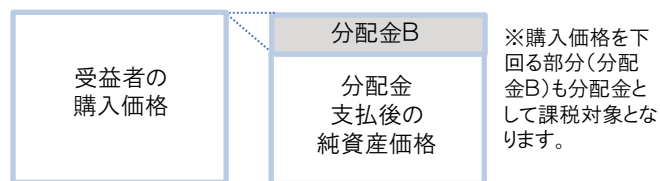
※上図はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに純資産価格について示唆、保証するものではありません。上図は、便宜上、円による表示を行っていますが、実際の分配金額や純資産価格は、各ファンドの表示通貨により表示されます。

- 受益者(投資者)のファンドの購入価格によっては、分配金の一部またはすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。この場合、当該元本の一部払戻しに相当する部分も分配課税の対象となります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より純資産価格の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



(注) 分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

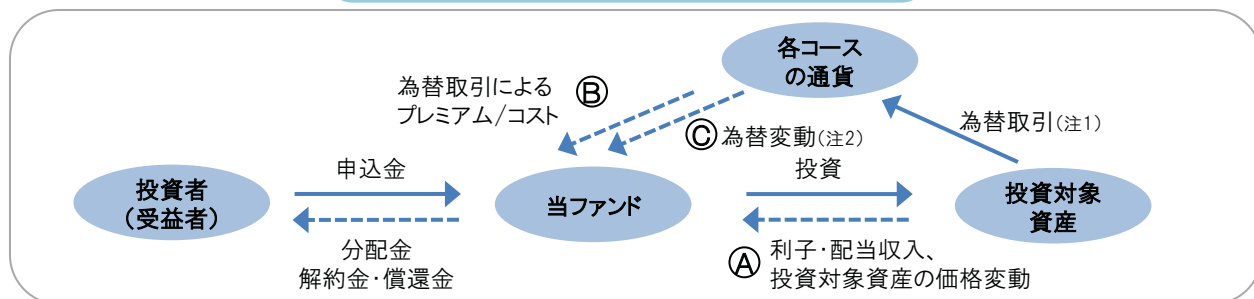
上記はあくまでも分配金に関するご留意事項について理解を深めていただくことを目的としてSMBC日興証券が作成したものであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに純資産価格について示唆、保証するものではありません。また、分配基準日等の記載に関しては上記と異なる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

通貨選択型ファンドの収益に関するご留意事項

下記は、弊社取扱いの通貨選択型ファンドのうち、代表的な運用形態の収益源についてご説明したイメージ図であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。詳しくは、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。
- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素(A)+ (B)+ (C)が挙げられます(これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。市況動向によっては、下記の通りとならない場合があります。)。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



(注1) 各コースの通貨(取引対象通貨)が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

(注2) 円ヘッジコースは、原則として為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

- ① 新興国や高金利通貨ヘッジコース/通貨バスケットコース・・・ (A) + (B) + (C)
- ② 円ヘッジコース・・・ (A) + (B) + (C) (取引対象通貨は円となります)

収益の源泉	= (A) 投資対象資産の価格変動		+ (B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+ (C) 為替変動
	①の場合	②の場合		
収益を得られるケース	投資対象資産の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生(短期金利)取引対象通貨 > 原資産通貨	+	為替差益の発生(取引対象通貨に対して円安)
損失やコストが発生するケース	投資対象資産の下落	コスト(金利差相当分の費用)の発生(短期金利)取引対象通貨 < 原資産通貨	+	為替差損の発生(取引対象通貨に対して円高)

原則として為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

③ 通貨ロングショート戦略・・・ (A) + (B) + (C)

収益の源泉	= (A) 投資対象資産の価格変動		+ (B) 為替取引によるプレミアム/コスト	+ (C) 為替変動
	①の場合	②の場合		
収益を得られるケース	投資対象資産の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生(短期金利)買建て通貨 > 売建て通貨	+	為替差益の発生(円安/買建て通貨高)(円高/売建て通貨安)
損失やコストが発生するケース	投資対象資産の下落	コスト(金利差相当分の費用)の発生(短期金利)買建て通貨 < 売建て通貨	+	為替差損の発生(円高/買建て通貨安)(円安/売建て通貨高)

(注3) 各コースの通貨(取引対象通貨)が新興国通貨の場合等は、金利差がそのまま反映されない場合があります。

(注4) 通貨選択型ファンドが実質的に投資を行う投資対象資産に関する投資リスクについては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

(2013年3月)

上記はあくまでも通貨選択型ファンドの収益に関するご留意事項について理解を深めていただくことを目的としてSMBC日興証券が作成したものであり、将来の運用実績を示唆または保証するものではありません。収益の源泉についてはファンドにより異なるため、上記の内容と異なる場合があります。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。